

岡本 幹男 議員

先端技術産業の誘致を 浅羽海岸北側に

問 〓ぶじのくに〓のフロンティアを拓く取組の国総合特区の活用により、西岡笠地内の日軽エムシーアルミ株式会社工場跡地約1万坪に企業誘致はできないか。

答 同工場跡地利用については、同社の処分方針を前提に、進出企業に対する国総合特区の支援措置を含め積極的な情報交換を行っていききたい。

外国人の住みやすい環境整備を

問 袋井市内4069人の外国人に対する生活関連情報の提供に改善の予定はあるか。

答 自治会役員の意思疎通が困難との意見もあり、8名の通訳職員による連携や、ホームページの5カ国語への自動翻訳機能のPRを図っていききたい。



日軽エムシーアルミ工場跡地

小笠山へのハイキング コースの整備を

問 小笠山国有林部分を、自治体による借り上げ方式により「レクリエーションの森」として整備できないか。

答 倒木や狭い尾根道での滑落など危険箇所があり、整備や管理の費用負担の問題はあるが、小笠山を有効に使うため、今後、掛川市と連携し、取り組みを検討していききたい。

高橋 美博 議員

若者の意見・提言を 活かす市政に

問 地方自治体や教育機関が若者を地域の主体と捉え、若者の力を地域に活かすための仕組みを整えれば、若者自身の力を引き出すことができ、長期的な地域の財産形成につながる。本市は若者から意見を聞く機会を設けてきたか。

答 平成26年度から毎年8月に本市と共同で理工科大学が地域学講座を開催。若者の視点から本市の課題解決やまちの発展につながる具体的な事業提案をいただいている。また同大学女子学生で構成する「Rikioo Cafe」の活動では愛野エリアのおすすめスポットを紹介した冊子を編集発行するなど、地域の魅力創出に貢献いただいた。平成27年度からは、市内の全ての中学校が参加し、「中学生未来会議」を開催。中学生からの提案が新たな取り組みや事業の推進に活かされている。



理工科大学の地域学講座の授業風景

問 愛知県新城市の「若者議会」や、福井県鯖江市の「市役所JK課」、牧之原市の「リーダー育成プロジェクト」、磐田市の「ヤング草莽塾」のように、若者に政策提言の機会を設ける考えはないか。

答 理工科大学が毎年開催している「地域学講座」に、今年度から新たに東海アクス看護専門学校、袋井高校や袋井商業高校のほか市外の高校に通う生徒たちにも参加の呼びかけを行っている。